
「エレキギター」「紅茶」「鳩サプレー」

宮川礼治

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「エレキギター」「紅茶」「鳩サブレー」

【Nコード】

N4238Z

【作者名】

宮川礼治

【あらすじ】

前回までのあらすじ。「前回ねーよ！」突然現れた、ギターを抱えた美少年。「美少年!？」彼は、妙な訛りでヒロインをナンパしはじめた!「ヒロインだから!ヒロインじゃないから!」

(前書き)

11月25日に放送されたニコニコ生放送で出したお題です。
ちなみにこのお題で、佐々木軒助さんも書いています。

優雅なティータイムを楽しんでいた私の鼓膜は機械的な音によって振動させられた。

目の前には何故かギターを抱えた少年が立っている。そして、その少年は円らかな瞳で私を凝視しているのだ。

私の第六感は何も告げない。

(目を合わせたらダメだ)と。

テーブルにティーカップを置くと、再び鼓膜な振動が伝わる。今度は、テーブルの上の紅茶の表面も揺れていた。

私は、ひたすら視線を下げていた。それでも、少年の視線は私を突き刺していた。

「僕と…」

少年は呟くように、声を出した。

「な、何かしら?」

「僕と、バンド組みませんカッ」

啞然。

「僕の、バンド組みませんカッ!」

少年は私が聞き取れなかったと思ったのか、さっきより少し大きな声でそういった。

私は、少年の独特な語尾をあえて気にせず(ツッコまず)、ゆっ

くり視線をあげ、少年と目線を合わせた。

目が合うと少年は嬉しそうな表情をした。私も釣られて微笑み、ゆっくりと、そして深く空気を吸って一言。

「断る」

呆然。

目の前の少年は何ともいえないあほ面をしている。

「どうしてデスツカ?! 鳩サブレーが無いからですツカ!」

少年は恐ろしいくらいの勢いで私に詰め寄った。

「いやいやいや。そういう問題じゃないからね?」

「鳩 サブレーがよかったツスカ?」

「君の話し方が、一タウザい。寧ろいらぬ。つか、何で私?」

「貴女のタマシイと僕のタマシイがキョーメーしたからデス」

少年はまるで向日葵のような笑顔を私に向けた。

「だから、僕と...」

「しかし、断る」

「じゃあ、結婚シテクダサイ」

「なぜ、そうなる」

「結婚しきのヒキデモノは、鳩サブレーにシマシヨウ!」

「結婚しないから」

「鳩 サブレーじゃ無いからですツカ!」

「そういう問題じゃねえええ！」

それは、とある層下がりの、私と留学生な彼との日常会話。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4238z/>

「エレキギター」「紅茶」「鳩サプレー」

2011年12月14日19時50分発行